



9月号

麻布幼稚園だより

港区立麻布幼稚園
園長 佐藤 幸子

予測不可能な事態に備えて

園長 佐藤 幸子

夏休みは、暑さが厳しい日、今まではなかった動きをする台風などがありました。皆さんは、どのように過ごしているのだらうと思いを巡らせておりました。

さて、熊本地震や千葉県の大規模土砂災害など、夏季休業中に全国各地で大きな自然災害が発生しました。私たちの暮らしの中では、いつどこで災害が起こるか予測することは難しく、日頃から備えておくことの大切さを改めて感じます。

本園では毎月1回、地震や火災などを想定した避難訓練を行っています。訓練では、保育者の話をよく聞くことや、安全に避難するための行動を繰り返し経験しています。災害時は誰もが不安な気持ちになりますが、日頃から訓練を積み重ねることで、「落ち着いて行動する力」や「自分の身を守ろうとする意識」が育まれていきます。また、職員にとっても避難方法や安全確保について確認し合う大切な機会となっています。

9月2日は引き取り避難訓練を行います。これを機会に家族で大規模災害があった場合を想定して安全への対策について考えたり、確認したり、いざという時に備えてどのように動いたらよいかを話題にしてみたいと思います。

これからの社会を生きる子どもたちには、災害時だけでなく様々な変化や困難に対応できる力が求められます。園では、遊びや生活の中で子どもたちが自分で考えたり、友達と協力したり、試行錯誤したりする経験を大切にしています。そうした日々の積み重ねが、予測できないできごとに出会った時にも、状況に応じて考え行動する力につながると考えています。2学期も引き続き、本園の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

閉庁期間中に「水やりボランティア」の方々が水やりをしてくださいました。おかげさまで栽培物も元気に育っております。ありがとうございました。

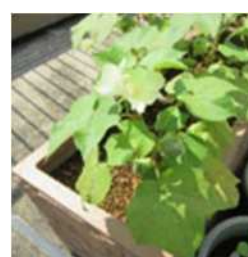
うめ組で、かめおのホームステイを申し出てくださいました方々にも重ねて感謝申し上げます。ご家族で生き物と一緒に過ごす機会となり、お世話をしてくださる様子が目に浮かびます。かめおも楽しい夏休みになったことと思います。ありがとうございました。



園庭の栽培物



屋上のポップコーンと綿



綿の実